

様式第4号（第10条関係）

審議会等の会議の記録

審議会等の名称	令和元年度第3回西脇市環境審議会
開催日時	令和2年2月20日（木） 午後1時30分～3時35分
開催場所	西脇市民会館第1会議室
出席委員の氏名 又は人数	熊谷 哲 小林拓郎 松山秀樹 徳岡敏昭 今中多津子 小田晴美 戸田佐千子 大崎夏子 木村紀雄
欠席委員の氏名 又は人数	遠藤行博 久米敏正 藤原勇夫 時政良光
出席職員の職・ 氏名又は人数	（幹事） くらし安心部長 高田洋明 （事務局） 環境課長 西村幸浩 環境課長補佐 本間健夫 環境課主査 村上尚正 （環境基本計画策定業務受託事業者） （株）地域計画建築研究所 畑中、中川、豊福
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	なし
議題又は協議事項	1 開会 2 会長あいさつ 3 審議事項 （1）西脇市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の 平成30年度の取組状況について （2）西脇市環境基本計画の平成30年度の取組状 況について （3）西脇市環境基本計画の策定について ア 基礎調査結果について イ アンケート回収状況等について 4 その他 5 閉会

会議の記録（概要）	
発言者	
事務局	1 開会
会長	2 会長あいさつ
議長	<ul style="list-style-type: none"> ○ 議事録署名人選出 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の議事録署名人について、議長より小林委員、大崎委員の2名を指名 ○ 傍聴定員の決定 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の傍聴希望者はないことを報告
事務局	3 審議事項
	(1) 西脇市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の平成30年度 の取組状況について
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料1に基づき説明
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 説明のあった内容について、委員の意見等を求める。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 14頁に焼却灰から鉄分を回収とあるが、回収後は何にリサイクルされているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業者に一括で引き渡しており、何にリサイクルされているかまでは確認していない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分別が悪いため、鉄分が残っているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ いいえ。電気コードを例に説明すると、50cm以内に切断し、正しく燃えるごみとして出してもらった場合でも、コードに金属が含まれている。そういったものも含まれている。
	(2) 西脇市環境基本計画の平成30年度の取組状況につい

事務局	<p>て</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料 2 に基づき説明
議長	<ul style="list-style-type: none"> 説明のあった内容について、委員の意見等を求める。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 37頁の「野生鳥獣被害対策の推進」の項で、鳥獣捕獲と侵入防護柵の整備に関する取組の記載があるが、芝山と呼んでいた林床を刈って、山を見通せるようにすることで、集落への鹿・猪の出没を減らし、被害の軽減を図ることもできる。山の管理形態を変えるような方策をとれないものか。 また、53頁の環境教育等については難しい課題ではあるが、環境教育のできる人材の育成を真剣に考える必要がある。学校園等の環境学習回数を51頁に記載されているが、その内容はどのようなものか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 有害鳥獣被害は、鹿・猪の増加に反し、捕獲する者が減少しているのが要因です。また、人工林の増加や里山の荒廃の進行から、人里に出没し、農業被害は増えています。被害の軽減を図るには、駆除による個体数管理や防護柵の設置、里山整備などを総合的に進めるしか策はないと考える。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 私の所属団体が運営の市民かんきょう大学では、年間5回の講座を開催し、2年間で修了としている。 気候、エネルギー、ごみ、健康などのテーマで、各回講師を招き、学生34名が学習しているが、同じ方が再入学しており、環境教育の裾野が広がらないことに苦慮している。また、運営スタッフも年々減り、少人数での運営が難しくなっている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 自然界は無茶苦茶になっている。開発行為は生態系を壊すもとである。山裾まで住宅地が広がり、山裾の湿地は全国、又世界的にも減少し、ラムサール条約はできた。コンクリートで覆えば覆うほど、豪雨に対応できず、河川は溢れる。水の封じ込めは、良くない。現場をしっかりと観察する機会を増やし、地域の意識を

<p>コンサル</p> <p>議長</p> <p>委員</p> <p>コンサル</p> <p>委員</p>	<p>高めることが大事になっていると思う。</p> <p>(3) 西脇市環境基本計画の策定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎調査結果について、資料 3、4 に基づき説明 ・ 説明のあった内容について、委員の意見等を求める。 ・ 様々な計画やそれに基づくまちづくり活動などが行われているが、空回りしているような気がしてならない。活動の提案よりも、人づくりの方が大事ではないかと思う。私の地域では、地域活動が面白半分、興味本位で始まり、長続きせずに途中でパンクするケースもあるが、皆さんの地域ではどうだろうか。解決策があれば教えていただきたい。 ・ その現状はあると思う。最後は担い手の問題である。今し方、ヒアリングさせていただいた方々には、若手も含めて、この地域でまだ何かをやろうという空気感がある。既存団体の横の繋がりを作ってはどうかと思う。最後は、人をどう育てるかが、地域にとって重要である。 ・ 地球全体の視野で見たとき、地方がしっかりする必要があると思う。説明の中に、人口に関する話があった。2050年に 9千万人、2100年には 5千万人ということである。江戸末期は 3千万人でも豊かに暮らしていたということであった。現在、人口減少が危惧されるが、小人、大人といった年齢バランスの視点が私にはこれまで欠けていたことに気づかされ大変勉強になった。人口が少なくても、若い人が多ければ持続可能であると思った。 <p>バッファゾーンや田畑の維持、鳥獣被害等は大事なことである。もう少し視点を大きく持ち、西脇全体のポテンシャルを秘めているところを再発見、活用しながら子供の教育に力を入れていくことも特に大事にし、市民それぞれが自信をもって進めていければ、い</p>
---	--

	<p>いモデルができるのではないかと思う。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> 資料4の12頁、SDGsとESG投資についての説明を求める。
コンサル	<ul style="list-style-type: none"> SDGsは、国連が2030年までに全ての国が解決すべき17の目標をまとめたものである。環境やエネルギー、経済、貧困、男女平等などの分野があり、はじめに誰一人取り残さないという目標がある。カラフルなマークで見たことがあると思う。 ESG投資は、これまで金融機関は儲かるか、儲からないか、担保がどれだけあるかで投資してきた。今、世界の流れは、社会や環境に重視したお金の流れがあり、化石燃料を使う企業には投資しないといったヨーロッパの企業もある。そういった投資のことである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 資料4の7頁、エコファーマーと西脇ファーマーについての説明を求める。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> エコファーマーは、兵庫県知事の認定制度であり、土づくり、化学肥料の使用低減、化学合成農薬の使用低減の3つに取り組む農業者の愛称です。 西脇ファーマーは、エコファーマーによる化学肥料等低減までには至らないが、慣行栽培よりは低減していることを西脇市長が認定している制度であり、農産物には西脇ファーマーズブランドのシールが貼られ販売されている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> エコファーマーの方が、基準は厳しいのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> そうである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 西脇ファーマーの農産物は、北はりま旬菜館で買えるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> そうである。
コンサル	<ul style="list-style-type: none"> アンケート回収状況等について報告

事務局	<p>市民アンケート 調査対象 2,000人 回答 830人 (回答率41.5%)</p> <p>事業者アンケート 調査対象 200事業所 回答84事業所 (回答率42.0%)</p>
	<p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回開催は、4月13日（月）午後1時30分から同会場で予定している。 <p>5 閉会</p>
問 合 せ 先	くらし安心部環境課